

しあがり

第58回 現代書 しあがり会書展

2019年(令和元年) 7月11日(木)～7月13日(土)

於:銀座大黒屋ギャラリー7階

〈 出品目録 〉

今の自分でしか表現することが出来ない書作品です。  
どういう姿勢でどんな思いを込めているか、うまい  
まずいでない“書”そのものから受ける感じを掴んで  
下さい。一つ一つの作品を自分で書いてみる気持ち  
で鑑賞していただきたいと思います。

■第58回現代書しゅはり会展 出品目録

〈特別展示〉

小林 龍峰「己甘休萬事」「半夜酒醒…」

〈会員〉

松林 千鶴「我道一人行」「画竜点睛」

小野 静江「鴛」「葉虫化蝶」「重いものを…」

木村 伊知朗「桃花」「和魂漢才」

RICHARD FLAVIN「大笑い」「結」

大西 房子「颯風」「波留の七草」「海髪」

石坂 悦子「鬼灯」「己亥」

福田 淑子「鱗の雲」「内憂外患」「風羅坊」

茅原 錦子「古今」「陰陽」「若」

渡辺 礼子「無声慟哭」「大聖堂」「詩・空」

小林 鯨「一水東流」「或日の事…」「撫菜」

〈共作〉

「食材」漢字一文字

〈特別展示〉 小林 龍峰

しゅはり会創始者



己甘休萬事  
135×69

半夜酒醒… 23.5×69





我道一人行 75×135



画竜点睛  
126×34

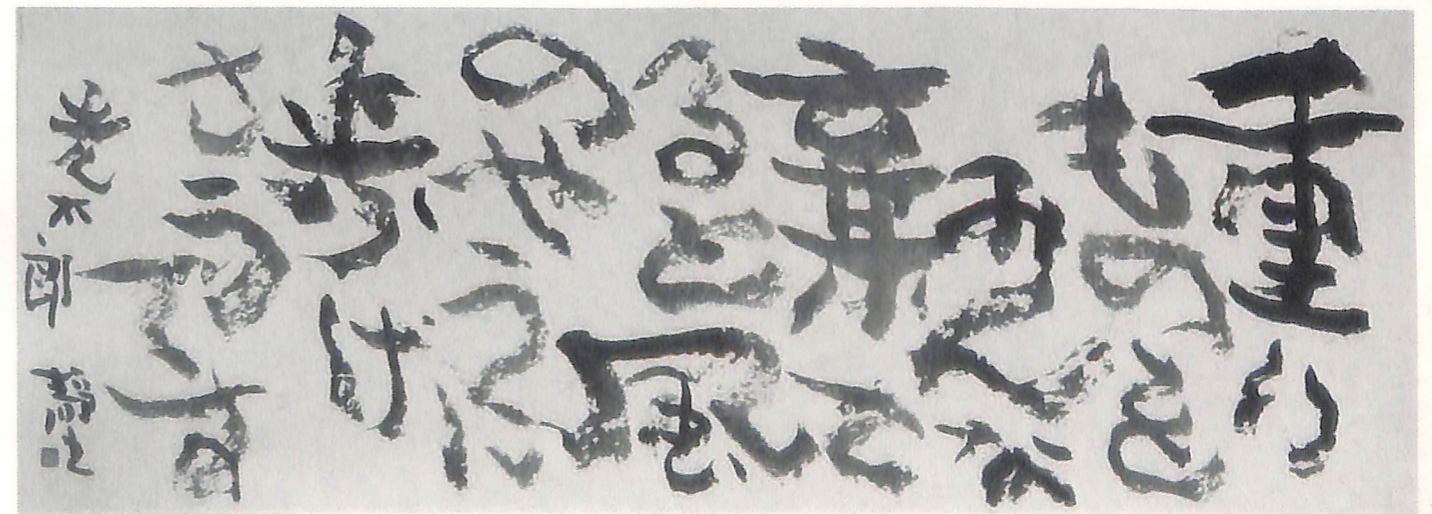
濃淡の妙 落款の  
好き、三作品の申で  
一番、と殊も私も思い  
ました。



鴉 135×70



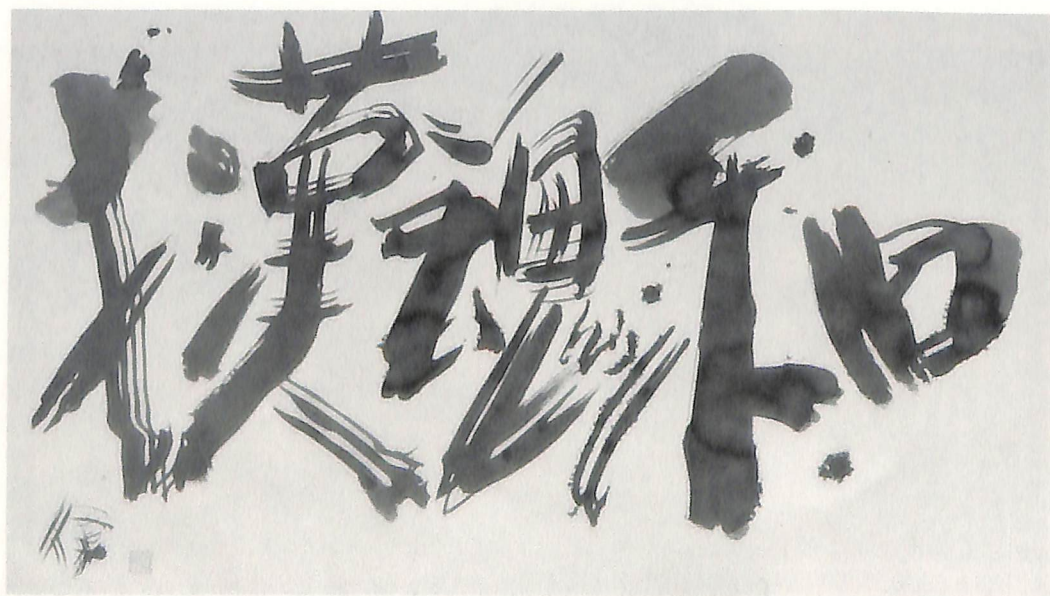
葉虫化蝶 なむしちょうとけす 67×69



重いものをみんな棄てると... 21×70



桃花  
75×40



和魂漢才  
45×70

ご自身で漉いた和紙  
に、日本人ととも大切に  
したい語句を大書  
された異国の方の  
力作です。



大笑い 153×69



結 86×60



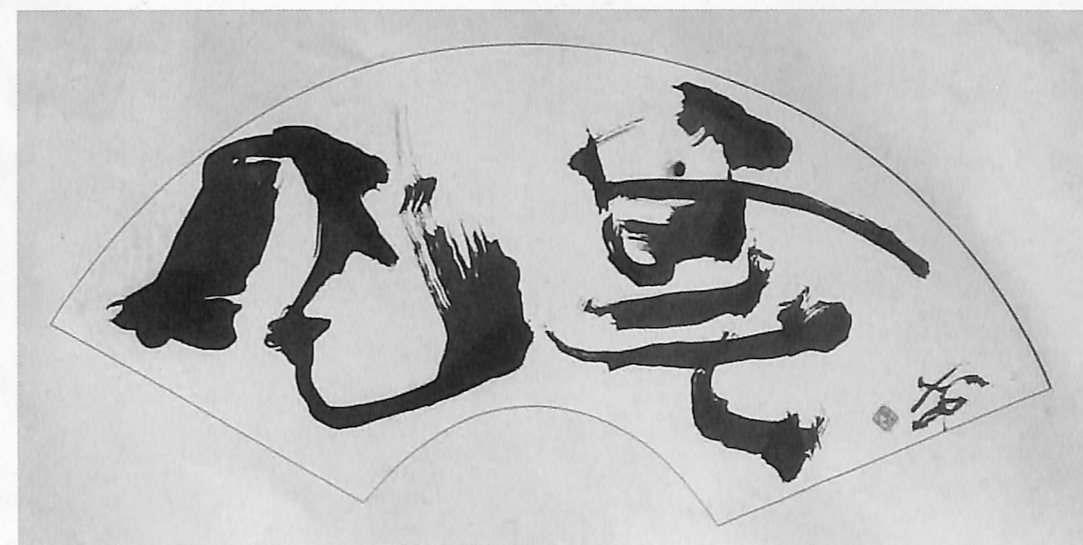
颯風  
ひょうふう  
137×70



波留の七草 139×35



海髪  
うご  
60×70



己亥 つちのとのい 23×48



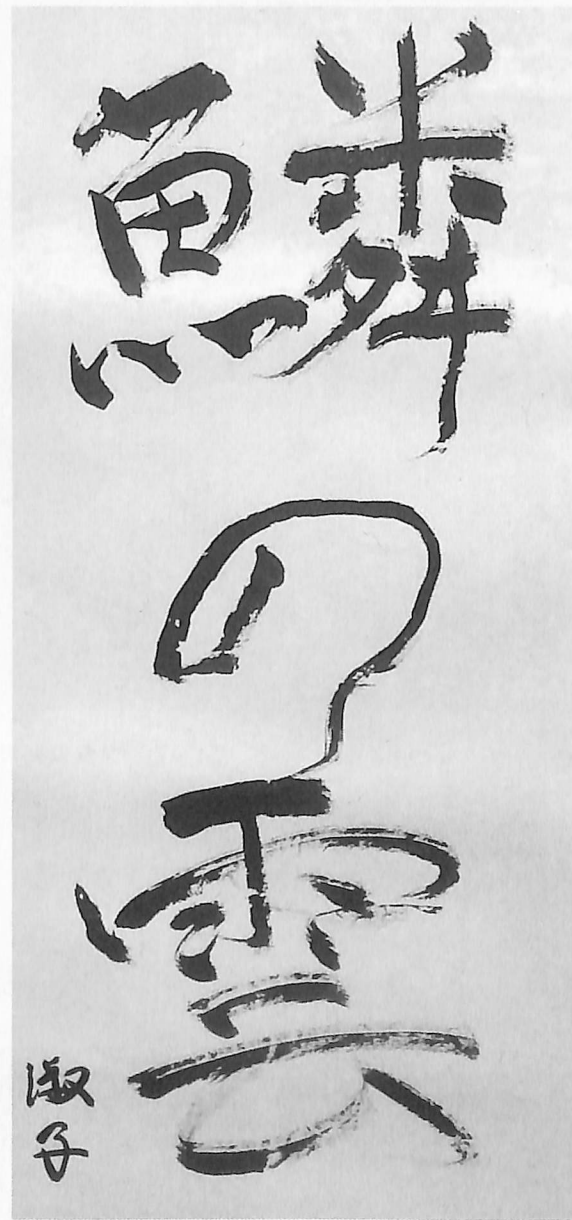
鬼灯  
ほおづき  
65×35



内憂外患 132×35.5



風羅坊  
132×35.5



鱗の雲 130×61



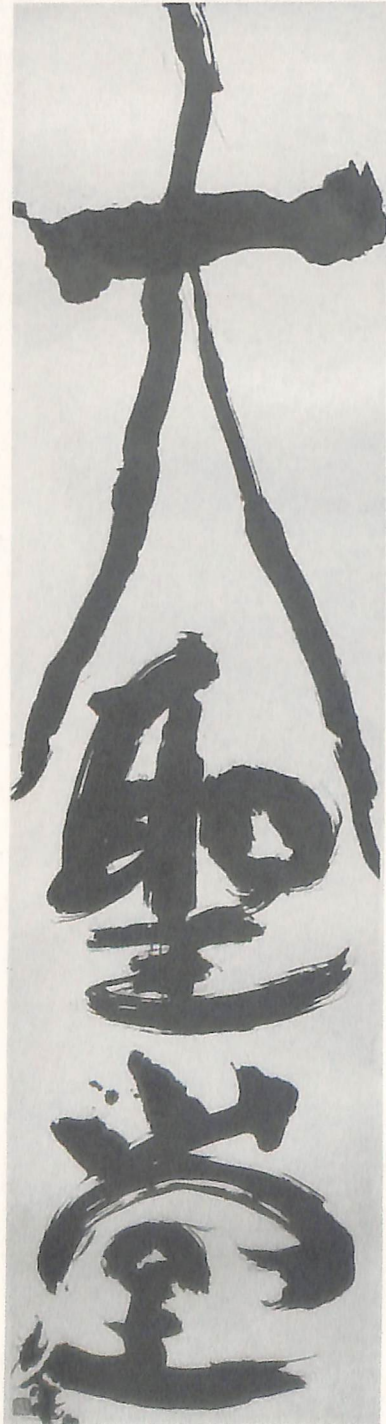
陰陽 90×63



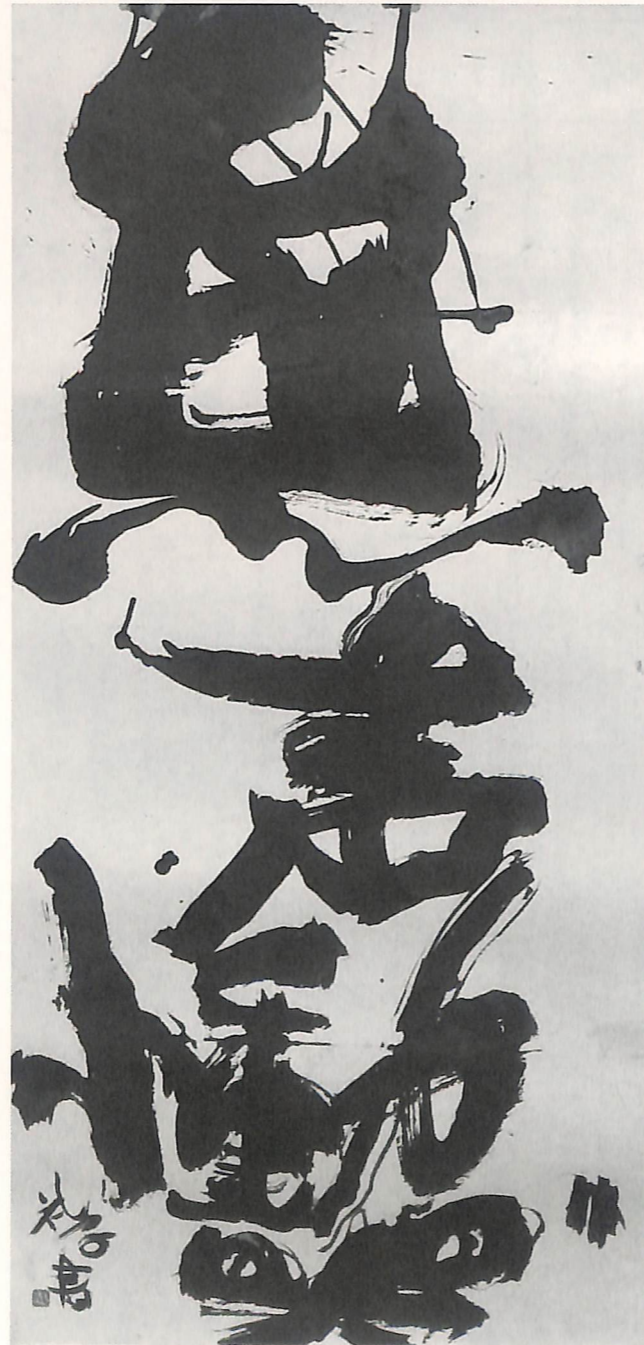
古今 こきん 89×60



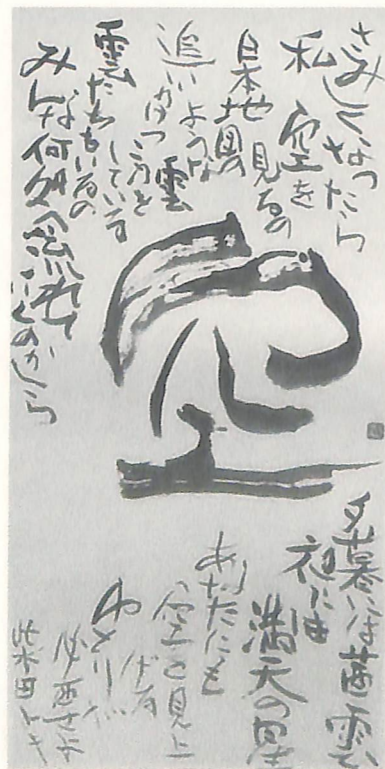
若  
72×59



大聖堂 136×34



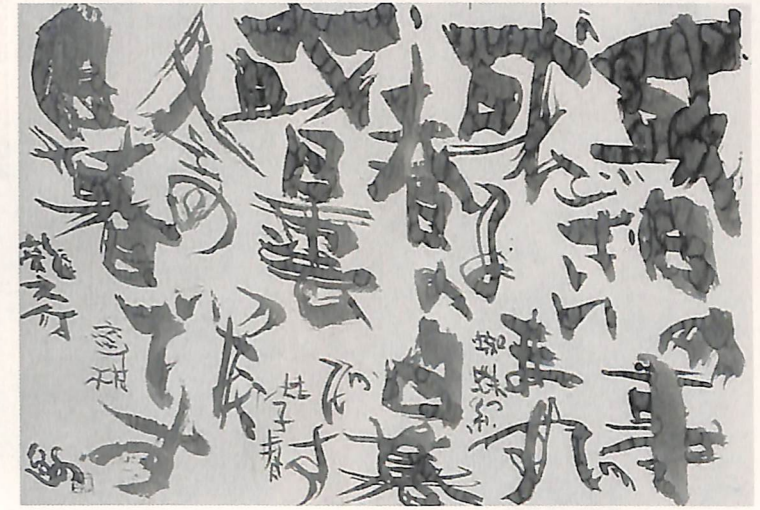
無声慟哭  
134×68.7



詩・空  
89×44



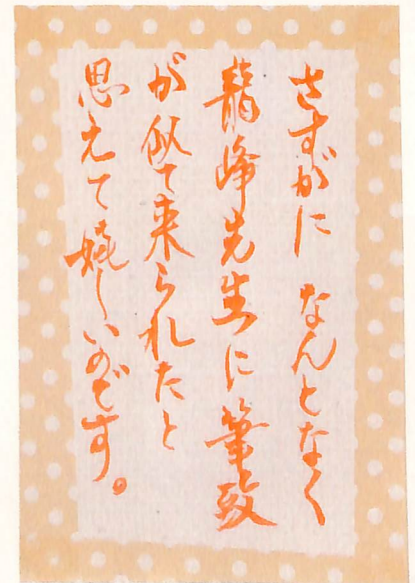
撫菜なづな 35×94



或日の事... 61×81



一水東流  
133×69



共作 「食材」 (漢字一文字) 半紙 1/2 大



「葱」 松林 千鶴

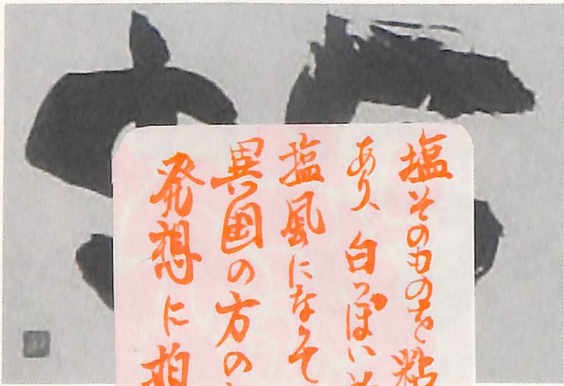
この米で握ったおむすび、さぞ美味いから。



「米」 小野 静江



「芋」 木村 伊知朗

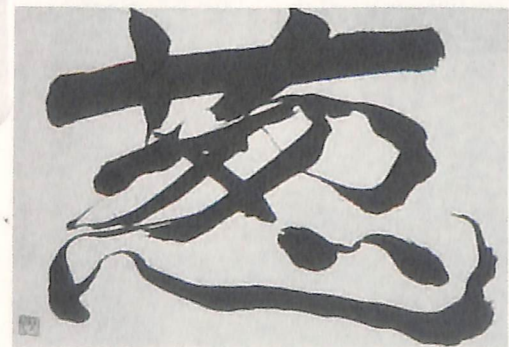


「鮎」  
大西 房子



「稗」 渡辺 礼子

塩そのものを粘着させて  
あり、白くは、所は盛り  
塩風にならざる。  
異国の方の奇抜な  
発想に拍手です。



「葱」 石坂 悦子



「塩」 RICHARD FLAVIN



「筍」 福田 淑子



「魚」 小林 鯨

しゅはり「守・破・離」とは 小林龍峰

人はそれ自体絶対です。  
良かろうと悪かろうと、それが自分です。  
良し悪しも、仮に外から計った評価に過ぎません。

そういう絶対の自分を確かめ、自覚し、自愛して  
いくのが人生です。自分を守る以上に、だれが深く  
守ることが出来るでしょう。  
それが「守」です。

自分を見つけ大切にしても、より豊かになるため  
には、いつも蚕のように脱皮し、自分の小を打破  
しなければなりません。  
それが「破」です。

仮に満足すべき境地に出会っても、それに甘んじ  
ていれば、いつか新鮮さを失くし、停滞し、陳腐  
になってしまいます。  
今日の満足を棄てて、明日に向かって心を新しく  
して行かねばなりません。  
それが「離」です。  
この会は、そういう気持ちで書作しています。

現代書 しゅはり 会事務局

東京都中野区弥生町2-3-14 〒164-0013

Tel. 03-3373-3669

代表：小林 鯨



WALSH®